

用 務：日本における人口問題と家族計画の実情

連絡機関：厚生省大臣官房連絡参事官

○ Mr. Emerson Chapin: Correspondent, New York Times

年 月 日：1964年7月15日

用 務：日本の人口問題の現状

連絡機関：New York Times, 東京支局

○ Mr. Francis Xauier McCarthy: Advison of AID, Department of State, US.

年 月 日：1964年7月30日

用 務：日本における人口問題と人口政策の調査

連絡機関：Statistical Center, University of the Philippines

○ Mr. Boonlert Leoprapai: Economic Planning Board of Thailand

年 月 日：1964年8月3日

用 務：日本の人口政策と経済計画に関する資料の収集および研究

連絡機関：The Population Council, Inc.

○ Dr. Milton Orris: Department of Sociology, University of Saskatchewan, Canada

年 月 日：1964年8月11, 13日

用 務：日本における家族計画の実状について

第 16 回 日 本 人 口 学 会

第16回日本人口学会総会ならびに 研究発表会は、昭和39年6月27、28の両日東京・立教大学5号館において開催された。総会では任期（2か年）満了による役員の変更が行なわれ、今期の役員として下記の諸氏が選出された。

会 長 永 井 亨

理 事（○印は常務理事を示す）

林 恵 海 ○古 屋 芳 雄 小 山 栄 三 ○水 島 治 夫

○森 田 優 三 ○南 亮 三 郎 永 井 亨 岡 崎 文 規

○館 稔 寺 尾 琢 磨 上 田 正 夫 山 中 篤 太 郎

監 事 黒 田 俊 夫 三 原 信 一

研究発表会において行なわれた報告題名および報告者を掲げると次のごとくである。

第1日（6月27日）

○ 研究発表

- | | | | |
|---|------------------------------|-----------|--------------|
| 1 | 昭和37年第4次出生力調査結果の概要（その1）…………… | 人口問題研究所 | 青 木 尚 雄 |
| 2 | 地域出生力に及ぼす人口移動の擬装的効果…………… | 人口問題研究所 | 黒 田 俊 夫 |
| | | " | 内 野 澄 子 |
| 3 | わが国1890～1920年の人口動向…………… | 慶応義塾大学 | 安 川 正 彬 |
| 4 | 日本の人口傾向のロジスティック分析…………… | 人口問題研究所 | 館 稔 |
| | | " | 高 橋 晟 子 |
| 5 | わが国世帯数推計の方法について…………… | 人口問題研究所 | 河 野 稔 果 |
| 6 | 固定人口集団における剖検例入手計画…………… | 原爆傷害調査委員会 | 松 本, Y. スコット |
| | | " | 村 雲 昭 一 |

- 7 糖尿病死亡の地域差と性差……………東京女子医科大学 諸岡 妙子
- 特別講演
- 1 人類遺伝からみた人口の資質……………東京医科歯科大学 田中 克己
- 研究発表
- 8 人口動態事象の社会経済的観察（第1報）……………厚生省統計調査部 角田 厲作
- 9 都道府県別生命表（1959～61年）と人口再生産率（1960年）……………九州大学 水島 治夫
鳥取大学 重松 峻夫
- 10 都道府県別長寿率の均一性の推移について……………久留米大学 安倍 弘毅
" 矢野 邦夫
- 第2日（6月28日）
- 研究発表
- 11 わが国人口移動に及ぼす距離の効果……………日通総合研究所 鈴木 啓祐
- 12 労働力人口の府県間移動量の推計……………人口問題研究所 上田 正夫
- 13 人口移動と経済変動……………一橋大学 南 亮進
- 14 人口移動と産業構造の変動に関する一研究……………中央大学 南 亮三郎
" 兼清 弘之
- 15 デモグラフィック・エラスティシティについて
——マクロ・モデルによる分析——……………人口問題研究所 館 稔
" 岡崎 陽一
- 16 家族循環と食料費の時間的変動……………お茶の水女子大学 伊藤 秋子
- 17 農家経営主および跡継ぎの兼業化問題——その現状と将来——……………人口問題研究所 皆川 勇一
- 特別講演
- 2 人口問題からみた人間能力の開発……………一橋大学 坂本 二郎
- 研究発表
- 18 北海道道南地域における経済地帯別年齢構成の一考察……………函館短期大学 小刈米 清弘
- 19 北関東衛星都市人口の圏構造研究（Ⅱ）……………中央大学 金田 昌司
- 20 人口現象からみた阪神地域周辺の都市化
——京浜葉地域周辺との比較——……………立正大学 岸本 実

日本統計学会第32回大会

日本統計学会第32回大会は、昭和39年7月1、2の両日東京・慶応義塾大学三田西校舎で開催された。

その研究発表会は、共通テーマと自由テーマの二つについて行なわれた。共通テーマは、学会理事会であらかじめ論題を選定し、報告者および討論者を委嘱したもので、本年度のテーマは「統計教育」と「統計資料の諸問題」の2本であった。「統計教育」については、大学、産業界、官庁における統計教育のあり方が論議され、「統計資料の諸問題」については、とくに労働力統計の問題点が論議された。いずれも、現在統計学界における大きな課題であって、それだけに有意義な討論であった。

自由テーマの報告は合計30題、社会統計から数理統計にわたる広範な課題が六つのセッションに分けて報告された。そのうち人口に関する報告は、7月2日第1会場でまとめて行なわれたが、論題および報告者は次のとおりであった。

地域的産業別人口構造モデルによる1955～1960年のわが国地域の人口の解析……

……………日通総合研究所 鈴木 啓祐